

授業科目 スポーツ心理学実習

【担当教員名】  山崎 史恵	対象学年	3・4	対象学科	スポ	
	開講時期	後期	必修選択	選択	
	単位数	1	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 体育・運動・スポーツ領域の様々な事象に対して心理学的にアプローチしていくための研究法を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 体育・運動・スポーツ領域の研究法についての基礎的理論を学びながら、スポーツの現場に応用可能な実験手法、心理テストや質問紙作成による調査法、インタビューや面接データの質的分析、さらには観察法等を実践し、適切なデータ処理を行ったうえで、問題を多角的に考察することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	スポーツ心理学における測定の意味と方法				
2	スポーツ心理学の研究法と基礎理論（手順および計画）				
3	実験実習（練習法による効果の違い）				
4	実験実習（結果の知識の効果）				
5	実験実習（言語指示による強調効果）				
6	実験実習（メンタルプラクティスと技能の習得）				
7	実験実習（要求水準および目標設定と運動パフォーマンス）				
8	調査実習（心理テストによる態度・動機・不安の測定）				
9	調査実習（心理テストによるパーソナリティの測定）				
10	調査実習（質問紙作成とリッカート法による態度測定）				
11	調査実習（質問紙作成とリッカート法による態度測定）				
12	インタビューによる面接法				
13	質的データの分析				
14	観察法				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		体育心理学実験実習概説	体育心理学実験指導研究会（編）	大修館書店	1997
その他の資料					
【評価方法】 出席（30%）、実習レポート（70%）			【履修上の留意点】		